

## ■生態系ネットワーク形成に取り組む目的

私たちの社会活動、経済活動に様々な恵みをもたらす自然生態系を守り育て、未来に継承していくためには、「生態系ネットワーク」という考えが重要となる。

生態系ネットワークとは、生物多様性が保たれた国土を実現するために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につなぐ取組みのことである。国内では、「第二次国土形成計画（全国計画）」（平成27年8月閣議決定）や「生物多様性国家戦略2012-2020」（平成24年9月閣議決定）などの全国・広域レベルの上位計画において“生態系ネットワークの形成”が主要政策として位置づけられ、広域連携による事業の推進が求められている。

こうした中、越後平野を取り巻く自然条件・社会条件は、生態系ネットワークの形成や自然環境を活かした地域振興を進める上で、全国有数の好条件を備えた地域となっている。

### 自然条件

- 2018年4月には、佐渡市を巣立った純野生のトキが日本海を渡り、初めて本州（新潟市）に飛来した。本州におけるトキの定着への期待が高まっている。2018年5月にも、新潟県佐渡市で放鳥されたトキが長野県塩尻市内の水田で確認されるなど、本州への分散は今後も進んでいくものと考えられる。
- 越後平野は、既にハクチョウ類の国内最大規模の越冬地となっている。潟湖や河川などでねぐらを取り、周辺の広大な水田で採食を行っている。

### 社会条件

- 長岡市策定の「第4次環境基本計画」において、飼育しているトキを一般公開し、自然環境保全の重要性について周知していくことが基本施策として示されている。さらに、トキを間近で見られる学習館観覧棟「トキみ〜て」が2018年8月にオープンし、観光資源としての効果に期待が寄せられている。
- 新潟市策定の「第3次新潟市環境基本計画」では、ハクチョウが飛び交う豊かな自然環境や水と緑のネットワークづくりが示されている。

越後平野において、河川や田園、里潟等の水辺の生物多様性の保全及び持続可能な利用のため、多様な主体が連携・協働し、生態系ネットワークの形成を推進するとともに、自然の価値や魅力を活かした地域の活性化を目指す。

## ■対象地域

「越後平野」を主な対象とする。越後平野の主要河川である信濃川、阿賀野川を基軸として流域に展開する新たな地域活性化の検討を行う。



# 指標種となる生き物を選ぶ

## 生態系の 広域的なつながり を示す指標種

河川の流域から地方圏域、全国そして世界へと広域的に移動する鳥は、生態系ネットワークの連結性を示す良いシンボルになります。また、その中でも大型鳥類はよく目立ち、多くの人々に対して取組みの効果を実感してもらいやすい生きものと言えます。

例)  
ハクチョウ類、ガン類、  
ツル類、コウノトリ、  
トキなどの大型水鳥

### ハクチョウ類



オオハクチョウ



コハクチョウ

### ガン類



マガン



ヒシクイ



シジウカラガン

### ツル類



ナベヅル



マナヅル



タンチョウ

### コウノトリ・トキ



コウノトリ



トキ



# 越後平野に特徴的な大型水鳥(指標種案)

## ■大型水鳥を指標とするメリット

### 1 自然と調和した多様な環境が一体的に存在することの象徴

大型水鳥類の多くは、まとまった良好な水辺を広範囲に移動して生息・繁殖・越冬する習性をもつことから、行政界の枠を超えた広域レベルの水系ネットワークの指標として適した存在である。



### 2 色々な生き物がくらす環境の象徴

トキやハクチョウ類が生息できる河川・湖沼やまとまりのある湿田や湿地は、小型の水鳥類をはじめ多くの生き物がくらすにける環境条件を有している。



### 3 アピール性が高く広く受け入れられやすい

国内で一度は野生絶滅したトキ、美しい冬の使者ハクチョウは、目にとまりやすく、取組みの効果をアピールするのに適している。



## ■生態系ネットワークのシンボルとなる生きもの

### トキ

- 学名「ニッポニア・ニッポン」。国の特別天然記念物。日本国内における自然保護の象徴とされ、アピール性の高い指標種として適している。江戸時代後期の文献には、佐渡・越後におけるトキの記録が見られる。
- 新潟県の鳥。佐渡島を拠点に継続的な保護活動が行われている。
- 2018年に学習館観覧棟「トキみ〜て」（長岡市寺泊）がオープン。記念式典には長岡市長、佐渡市長、新潟県副知事らが出席し、観光資源としての効果に期待が寄せられている。

### ハクチョウ類

- 越後平野は国内最大規模の越冬地となっている。
- ビッグスワンスタジアムやアルビレックス新潟の存在、新潟市・阿賀野市の鳥であることなど、地域住民に愛される生きものである。
- ラムサール条約湿地である「瓢湖」は、「水原のハクチョウ渡来地」として国の天然記念物にも指定されている。
- 新潟市策定の「第3次新潟市環境基本計画」にも、「ハクチョウが飛び交う豊かな自然環境」についての記述が見られる。



- \* 今後、指標種であるトキ・ハクチョウ類の保全・活用に資する取組みを通して、オオヒシクイ等の大型水鳥類、魚類、昆虫類といった生態系ピラミッド全体の生息環境の保全に努めていくものとする。

# 越後平野における生態系ネットワークの展開イメージ(案)

生態系の広域的なつながりを示す大型水鳥を指標として、その安定的な生息に向けた地域間の情報交換や様々な活動を通じて、生態系ネットワークの形成を実現していく。



# 越後平野における生態系ネットワーク推進協議会について

## ■協議会の主な役割

「越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」の役割（実施内容）は、主に以下のものを想定している。

- 生態系ネットワーク形成の推進
- 自然の価値や魅力を活かした地域の活性化
- 越後平野における生態系ネットワーク形成の基本方針や将来像などの設定（全体構想の策定）
- 指標種の決定
- 下部組織（流域協議会等）の設置
- 生態系ネットワーク全国会議・全国フォーラム等への参加

## ■スケジュール

平成31年4月 幹事会の開催（開催済み）

- 取組みの目的・方向性の共有
- 設立趣旨、規約及び協議会としての今後の実施内容の確認

令和元年7月 協議会の設置、第1回協議会の開催

- 規約の確認、及び会長の選任
- 指標種の決定、ロードマップの確認

以降 協議会の継続開催

- 全体構想の策定
- 協働メニュー、実施体制の決定
- 取組み状況の把握・整理
- フォローアップ など

取組みの共有・推進・進捗把握・見直し・改善

## ■構成委員

※五十音順

	所属等	氏名等(敬称略)
学識者 ※	徳島大学 准教授	河口 洋一
	新潟大学 教授	関島 恒夫
	長岡技術科学大学 教授	細山田 得三
NPO・市民団体 ※	瓢湖の白鳥を守る会	佐藤 巖
	新潟県水鳥湖沼ネットワーク	佐藤 安男
	一般社団法人長岡市緑地協会	鈴木 重吉
	新潟県野鳥愛護会	千葉 晃
	北陸振興会議NPO研究委員会	餅谷 紀男
行政	新潟県	部長
	新潟市	部長
	長岡市	部長
	阿賀野市	部長
	新発田市	課長
	環境省 関東地方環境事務所	次長
	国土交通省 北陸地方整備局 河川部	河川部長
	国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所	事務所長
	国土交通省 北陸地方整備局 信濃下流川河川事務所	事務所長
	国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所	事務所長
オブザーバー	佐渡市	
	農林水産省北陸農政局	

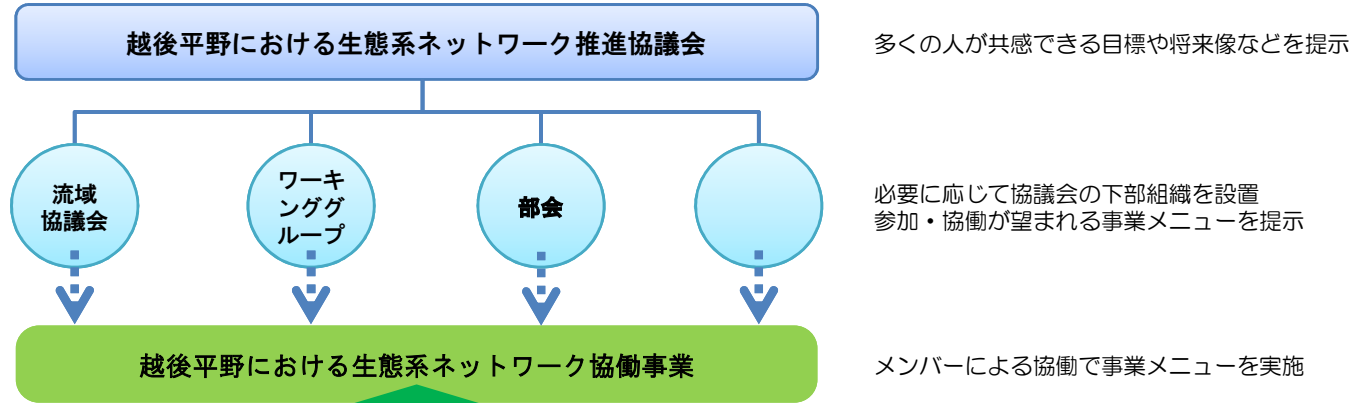
\* 今後、協議会の拡充や下部組織の立ち上げの際には、マスコミ、金融機関等からの委員の追加を検討していく。





# 越後平野における生態系ネットワーク推進協議会について

## ■協働による事業推進のイメージ



### ネットワークの協働メンバー

取組み例	取組み例
<p><b>市町村</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政計画への位置づけ（環境基本計画・生物多様性地域戦略など）</li> <li>公共事業での自然環境の保全・再生・維持管理</li> <li>企業・市民団体等への参加の働きかけ、マッチング</li> <li>企業・市民団体等の取組みの広報・顕彰</li> <li>生態系ネットワーク全国会議・全国フォーラム等への首長の参加</li> </ul>	<p><b>学識者・大学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所有地での自然の保全・再生・維持管理</li> <li>フォーラム等のイベント開催</li> <li>企業・学校等の取組みへのアドバイス</li> </ul>
<p><b>新潟県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県が取組む生態系ネットワークの推進</li> <li>企業・市民団体等への参加の働きかけ、マッチング</li> <li>企業・市民団体等の取組みの広報・顕彰</li> <li>ふるさと納税制度等の活用</li> </ul>	<p><b>団体</b></p> <p>（市民団体、JA、生協、観光協会、商工会議所など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の保全・再生・維持管理</li> <li>企業・学校等の取組みへのアドバイス</li> <li>フォーラム等のイベント開催</li> </ul>
<p><b>環境省</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコツーリズムの推進・支援</li> <li>指標種及びその生息環境の調査</li> </ul>	<p><b>地域住民</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の保全・再生・維持管理活動への参加</li> </ul>
<p><b>農林水産省</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全型農業や食農教育の推進</li> <li>グリーンツーリズムの推進</li> </ul>	<p><b>企業</b></p> <p>（マスコミ、金融機関、旅行会社、アウトドアメーカーなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所有地での自然の保全・再生・維持管理</li> <li>社員の地域の自然の保全・再生・維持管理への参加</li> <li>市民団体等への支援</li> </ul>
<p><b>国土交通省</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川区域での自然環境の保全・再生・維持管理</li> <li>企業・市民団体等への参加の働きかけ、マッチング</li> <li>企業・市民団体等の取組みの広報・顕彰</li> <li>指標種及びその生息環境の調査</li> <li>事務局運営、事業全体の進行管理</li> </ul>	<p><b>学校・幼保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校ビオトープの創出・維持管理</li> <li>地域の自然の保全・再生・維持管理への参加</li> </ul>

# 越後平野における生態系ネットワーク推進協議会について

## ■現状の問題点を踏まえた目標達成に至る道筋のイメージ

